


VST Little Phatty Editor™ 1.1.2 Manual

 Windows 98, ME, 2000, XP, Vista

 OS 9, OS X 10.4, OS X 10.5

 Universal Binary

目次

- » はじめに
 - » インストール
 - » 設定
 - » グラフィカル・ユーザーインターフェース
 - » VST Little Phatty Editor の操作
 - » プリセットの操作
 - » MIDI コンティニューアスコントローラー (CC) リスト
 - » MIDI インプリメンテーション・チャート
-

はじめに

Moog Music. VST Little Phatty Editor™ by reKon audio.をお買い上げいただきありがとうございます。
います。

VST Little Phatty Editor は Moog の Little Phatty シリーズのサウンドの全てのパラメーターを完全にコントロールすることができるリアルタイム MIDI シンセ・エディターです。今、あなたは LP (Little Phatty) の全ての能力を生かすことができ、長く使えて有意義なパッチを組み立て、LP ひいてはあなたの音楽に新しい息吹を吹き込むことでしょう。滑らかでユーザーフレンドリーなインターフェースは、たとえばパッチに分りやすい名前を付けるといったことのように、わずかな時間であなたの LP の機能を最大限に利用できるようにします。また、マニュアルのダンプ操作に精を出さなくても、VST 上で全てのパッチを管理することができます。お使いの VST ホストで全てのパラメーターは自動的にコントロールでき、ホストシーケンサーで Little Phatty をビジュアルにプログラムする能力を与えることができます。

Moog Little Phatty™ シンセサイザー

Moog はアメリカの由緒あるシンセサイザーメーカーで、オリジナル Mini Moog、Voyager などのプロフェッショナルなアナログシンセサイザーを提供しています。Moog はそのサウンドクオリティによって長く残る名機であると信じます。このすばらしいシンセに我々のエディターとプリセットを提供できることを誇りに思います。

インストール

reKon audio ソフトウェアをインストールしましょう。インストールするにはまず、提供された VST Little Phatty Editor の圧縮ファイルを展開してください。展開されたファイルをフォルダごと、あなたの使用する VST フォルダにコピーします。

Windows XP, Vista

通常、VST ホストの VST フォルダは HDD C: の 'Program Files/Steinberg/Vst Plugins' でしょう。そこに VST Little Phatty Editor フォルダをコピーします。

Mac OSX

通常、VST ホストの VST フォルダは 'user/Library/Audio/Plug-Ins/VST' でしょう。そこに VST Little Phatty Editor フォルダをコピーします。

設定

VST プラグインを使用するため前提

まず、対象のシンセサイザーの基本的な機能を理解してください。それはそのシンセのマニュアルおよび MIDI の基本を理解することです。この知識なしでは、本エディターの設定や使用方法を理解するのに時間が掛かるでしょう。

ステップ 1: Little Phatty の設定

LP とパソコンを MIDI ケーブルで接続し、割り当てる MIDI ポートと MIDI チャンネルを確認、設定してください。

注: VST Little Phatty Editor を使用するには LP の OS を V2.20 にアップデートしてください。

ステップ 2: VST ホスト(DAW) のプラグインの設定

設定の方法はホスト(DAW)のソフトウェアによって異なります。各ホストの VST サポートは異なるでしょう。また、VST Instruments からの MIDI データに対するサポートも異なるでしょう。使用できるホストについては、**reKon audio** のウェブサイト; www.rekonaudio.com で、Supported Hosts のリストを参照してください。そして、VST ホストのマニュアルの VST instrument (VSTi) の設定方法を参照してください。

Cubase SX 1-3 または Cubase 4.1.3+ での設定例

VST Little Phatty Editor を Cubase SX 1-3 または Cubase 4.1.3+ で設定するには:

1. VST Instrument Plugins のフォルダに VST LP Editor がインストールされていることを確認してください。
2. Cubase SX または Cubase 4.1.3+ を立ち上げてください。
3. New Project を作成してください。
4. VST Instruments パネルを開き、VST スロットで「reKon™ VST Little Phatty Editor」VST を選択してください。
5. MIDIトラックを作成し、その MIDIトラックを選択してください。
6. その MIDIトラックの I/O(In/Out) パネルで、MIDI input に VST Little Phatty Editor に割り当て、MIDI output に Moog Little Phatty 本体が接続されている MIDI ポートとチャンネルを割り当ててください。
7. もう1つの MIDIトラックを作成し、そのトラックを選択してください。

8. その MIDIトラックの I/O(In/Out) パネルで、MIDI input に使用する MIDI キーボードの MIDI ポートとチャンネルを割り当て、MIDI output に Moog Little Phatty 本体が接続されている MIDI ポートとチャンネルを割り当ててください。このトラックが Moog Little Phatty のノート/ピッチ/モジュレーションを演奏し、レコーディングするために使用されます。
9. 先の両方の MIDI トラックで小さなスピーカーのアイコンをクリックしてアクティブにします。これでそのトラックが選択されていなくても演奏をモニターできるようになります。
10. MIDI キーボードを弾き、VST Little Phatty Editor のツマミを動かして、演奏してみてください。

注1. 他の VST ホストの設定法も似かよったものです。reKon audio のウェブサイト; www.rekonaudio.com の Host Support ページも参照してください。

注2. VSTi in Cubase SX 3.1.1+ と Cubase 4 versions 4.0 - 4.1.2 からの MIDI メッセージは欠落があります (SB のバグ)。Steinberg のウェブサイトでバージョンと MIDI サポートに関する詳細を参照してください。

ステップ 3: MIDI IN トラックの設定

エディターへの MIDI 入力の設定

1. 前節の設定を実行しておきます。
2. 新たに MIDI トラックを作成し、そのトラックを選択します。
3. その MIDI トラックの I/O(In/Out) パネルで、MIDI input に Moog Little Phatty 本体が接続されている MIDI ポートとチャンネルを割り当て、MIDI output に VST Little Phatty Editor に割り当ててください。
4. Little Phatty でツマミを回してみてください。エディターの画面でツマミが回るか確認します

VST エディターに Little Phatty 本体のパッチをロードするには

前節の MIDI 入力の設定が完了すれば、Little Phatty 本体の現在のプリセットをエディターに読み込むことができます。

1. SEND、RECEIVE ボタンがオン(ハイライト)であることを確認、設定してください。PGM SND、RCV はオフ(ダーク)にしておきます。
2. Little Phatty 本体で読み込みたいプリセットを選択します。
3. VST Little Phatty Editor のパネル画面左の GET PATCH ボタンをクリックします。
4. エディターは全てのパラメーターとパッチネームを読み込んだプリセットの値にします。

グラフィカル・ユーザーインターフェース

グラフィカル・ユーザーインターフェースの使用

VST Little Phatty Editor のユーザーインターフェースは、スクリーン上で Moog Little Phatty の全てのパラメーターに簡単にアクセスできるようにデザインされています。また、プリセット名をエディター上で変更することができます。全てのコントロールは、ツマミ、ボタンタイプかコンボボックス、テキストエディットボックスで提供されています。

VST Little Phatty Editor™ V.1.1.2 ユーザーインターフェース



VST Little Phatty Editor の操作

サウンドについて

VST Little Phatty Editor は MIDI データに関してのみ動作する VSTi (synth) プラグインです。従ってそれ自身でサウンドを出力することはありません。すなわちサウンドは Moog Little Phatty が出力し、VST でのコントロールが可能です。VST Little Phatty Editor は VST MIDI Effect プラグインではなく、オーディオ処理をもたない VSTi Instrument です。

コントロールの操作

VST Little Phatty Editor のほとんどのコントロールは本体のつまみやボタンを模して、本体の操作と同じように操作できます。つまみには2種類あって、ゼロないし最小値が左に回ってきた位置にあるものと、回転の中央がゼロポジションであるものがあります。それぞれは、そのコントロールが持つレンジによってタイプが決まります。

コントロールの分解能

つまみのコントロールで、さらに細かい設定をするには、Shift キーを押しながらつまみを操作します。すなわち、それで値の「ファインアジャスト」が可能です。

コントロールを初期設定に戻す

各コントロールの設定を初期設定にするには、Ctrl(Control) キーを押しながら画面のそのコントロールをクリックします。

MIDI コンティニュアスコントローラー (CC) データの受信

VST Little Phatty Editor は、MIDI コンティニュアスコントローラー (CC) メッセージを受信し、処理できます。各コントロールが対応する MIDI CC 番号はこの後のリストで示されています。

MIDI LED インジケーター

VST Little Phatty Editor が MIDI データを受信あるいは送信するときには、対応する MIDI LED が点滅します。VST Little Phatty Editor は、MIDI ノートオン/オフ、ピッチベンド、モジュレーション、MIDI CC メッセージに反応します。

CHANNEL (MIDI チャンネルセレクター)

VST Little Phatty Editor が送受信する MIDI チャンネルを選択します。

MIDI SEND、RECEIVE ボタン

MIDI の送信 (SEND)、受信 (RECEIVE) それぞれをオン (ハイライト) / オフします。すなわち、VST Little Phatty Editor と Little Phatty 本体との MIDI の送受信を選択できます。

PGM SND (SEND)、PGM RCV (RECEIVE) ボタン

MIDI プログラムチェンジの送/受信をそれぞれオン/オフします。オン (ハイライト) にするとプリセットの選択を、VST Little Phatty Editor と Little Phatty 本体間で送/受信できます。

GET PATCH ボタン

このボタンをクリックすると Little Phatty で選択しているプリセットのパラメーターと名前をエディターに取り込み、設定します。SEND、RECEIVE 両方がオンになっている必要があります。

「About」表示

Moog のロゴをクリックすると「About」スクリーンが表示されます。

プリセットの操作

プリセットの選択

パネル画面左上のプリセットセクションはプリセットの選択や管理に使用します。LCD タイプのディスプレイには現在のプリセット名と番号が表示されます。ディスプレイ右の矢印ボタンはプリセット番号を上下選択します。選択すると、プリセットのパラメーターが Little Phatty に送信されます。MIDI データの送受信中はローダーバーがその進行を表示します。

現在のプリセットを変える

矢印上下ボタンでプリセットを変えます。

プリセット名を変更する

プリセット名を変更するにはプリセット表示のディスプレイをクリックし、通常のテキスト入力と同様に名前を変更、入力し、Enter キーを押します。プリセット名は 13 文字まで使用できます。接続されている Little Phatty の表示も変わります。エディットバッファで名前が変わるだけなので、本体で保存しない限り、本体のプログラム名は変わりません。

COPY、PASTE ボタン

現在選択中のプリセットをコピーして他のプリセット位置にペーストするには次のようにします。最初にコピー元のプリセットを矢印上下ボタンで選びます。COPY ボタンをクリックします。ボタンがハイライトになることに注意してください。次に、ペースト先のプリセット番号を矢印上下ボタンで選びます。そこで、PASTE ボタンをクリックしてください。COPY ボタンの色は元に戻ります。これでそのプリセットにペーストされました。続いて他のプリセットにもペーストできます。

プリセットバンクの初期設定

VST Little Phatty Editor が持っているプリセットバンク(プリセットのセット)の初期設定は Moog Music の Little Phatty の工場出荷時のプリセットと同じです。もしプリセットを変更した後に初期設定に戻りたい場合は、VST Instruments パネルの VST Little Phatty Editor スロットで、fxb のデフォルトバンクファイルをロードします。また、全てがブランクのバンクも用意されています。それをロードすれば全く無音のプリセットから編集ができます。

注意: 無音のプリセットからパラメーター設定を始めたときは、VOLUME (左端) を上げるのを忘れなく!

MIDI コンティニューアスコントローラー (CC) リスト

次のリストの MIDI コンティニューアスコントローラーメッセージが VST Little Phatty Editor のパッチ設定に使用されます。また、全ての Little Phatty モデルで共通で使用されます

機能	内容	コントローラー番号
GLIDE ON/OFF	グライドのオン/オフ	65
OCTAVE UP / DOWN	オクターブの上下スイッチ	89
LFO RATE	LFO 周波数の調節	3
AMOUNT	モジュレーション量の調節	6
SOURCE	モジュレーションのソース(元)の選択	68
DESTINATION	モジュレーション先の選択	69
LFO SYNC	LFO のシンクのソースの選択	102
LFO SYNC CLOCK	LFO シンクのクロックの選択	103
MOD SOURCE 5	モジュレーションのソース5の選択	104
MOD SOURCE 6	モジュレーションのソース6の選択	105
MOD DESTINATION 2	モジュレーション先2の選択	106
PITCHBEND UP	ピッチベンドアップのレンジ選択	107
PITCHBEND DOWN	ピッチベンドダウンのレンジ選択	108
OSC 1 OCTAVE	オシレーター1のオクターブ選択	74
WAVE	オシレーター1の波形選択	9
OSC 1 LEVEL	オシレーター1のレベル調節	15
GLIDE RATE	ポルタメントレート(時間)の調節	5
1-2 SYNC	オシレーターシンクのオン/オフ	77
OCTAVE	オシレーター2のオクターブ選択	75
OSC 2 FREQ	オシレーター2の周波数の調節	10
WAVE	オシレーター2の波形選択	11
OSC 2 LEVEL	オシレーター2のレベル調節	16
CUTOFF	フィルターカットオフ周波数の調節	19
RESONANCE	フィルターレゾナンスの調節	21
KB AMOUNT	ピッチ CV をカットオフに加える量の調節	22
EG AMOUNT	エンベロープをカットオフに加える量の調節	27
OVERLOAD	フィルターのオーバードライブ量の調節	18
FILTER POLES	フィルターのポール数の選択	109
FILTER SENSITIVITY	フィルターのセンシティブリティの調節	110
ATTACK	フィルターエンベロープのアタック時間の調節	23
DECAY	フィルターエンベロープのディケイ時間の調節	24
SUSTAIN	フィルターエンベロープのサスティンレベル調節	25
RELEASE	フィルターエンベロープのリリース時間の調節	26
EGR RELEASE	EGR リリースの調節	111
ARP LATCH GATE	レガートゲートの調節	112
ATTACK	アンプエンベロープのアタック時間の調節	28
DECAY	アンプエンベロープのディケイ時間の調節	29
SUSTAIN	アンプエンベロープのサスティンレベルの調節	30
RELEASE	アンプエンベロープのリリース時間の調節	31
ENABLE ON/OFF	アルペジエーターイネーブルのオン/オフ	113
ARP CLOCK SOURCE	アルペジエータークロックソースの選択	114
ARP CLOCK DIVISION	アルペジエータークロック分割の選択	115
ARP RANGE	アルペジエーター範囲の選択	116
ARP PATTERN	アルペジエーターパターンの選択	117
ARP MODE	アルペジエーターモードの選択	118
ARP LATCH	アルペジエーターラッチイネーブルのオン/オフ	119
	アルペジエーターのラン/ストップスイッチ	90
	アルペジエーターラッチ/アンラッチスイッチ	91

MIDI インプリメンテーション・チャート

VST Little Phatty Editor V.1.1.2

Message	Tx	Rx	Notes
Channel	x	o	1-16
Mode	x	x	Omni mode
Note On/Off	-	o	note numbers 0-127
Velocity	-	o	0-127
Aftertouch	-	o	0-127
Poly Pressure	-	o	0-127
Pitchbend	-	o	0-127
Modulation	-	o	0-127
Continuous Controller	o	o	0-127
Program Change	o	o	0-127
System Common	x	x	
System Realtime	x	x	
System Exclusive	x	x	

x = no

o = yes

注:仕様は断りなく変更されることがあります。

©2009 reKon audio. www.rekonaudio.com